

**令和4年度
学校推薦型選抜
健康栄養学科
小論文
問題・出題の意図・採点評価基準**

令和3年11月21日

高知県立大学

- 問** 表1は、1994年10月1日現在の兵庫県の人口を性・年齢階級別に示したものである。表2は、1995年1月17日午前5時46分頃に発生した阪神・淡路大震災による死亡者数(1995年6月までに死亡届が提出され、震災による死亡と判断されたもの)を性・年齢階級別に示したものである。表1と表2を読み取り、問1～問3に答えなさい。
(配点100点)

表1 兵庫県の性・年齢階級別人口

	人口(単位:千人)			男女比 (女性数/男性数)
	男女合計	男	女	
総数	5,514	2,669	2,845	1.07
0～14歳	910	465	445	0.96
15～64歳	3,846	1,895	1,952	1.03
65歳以上	757	309	448	1.45

資料：総務庁「平成6年(1994年)10月1日現在推計人口」

出典：厚生省大臣官房統計情報部 人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況 (https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei95/dl/h7_gaiyo.pdf, 2021.3.3アクセス)

出題の都合上、一部を省略・改変した。

表2 阪神・淡路大震災による性・年齢階級別死亡者数

	死亡者数(単位:人)			男女比 (女性数/男性数)
	男女合計	男	女	
総数	5,488	2,211	3,277	1.48
0～14歳	389	198	191	0.96
15～64歳	2,682	1,200	1,482	1.24
65歳以上	2,399	803	1,596	1.99
不詳	18	10	8	0.80

出典：厚生省大臣官房統計情報部 人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況 (https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei95/dl/h7_gaiyo.pdf, 2021.3.3アクセス)

出題の都合上、一部を省略・改変した。

- 問1 震災前の兵庫県の性・年齢階級別人口の男女合計(表1)と、阪神・淡路大震災による性・年齢階級別死亡者数の男女合計(表2)とを比較すると、人口あたりの男女合計死亡者数には年齢階級別にどのような傾向があるか、100字以内で述べなさい。
(30点)
- 問2 震災前の兵庫県の性・年齢階級別人口の男女比(表1)と阪神・淡路大震災による性・年齢階級別死亡者数の男女比(表2)とを比較すると、総数と年齢階級別における人口あたりの死亡者数には、男女によってどのような違いがあるか、160字以内で述べなさい。
(30点)

問3 阪神・淡路大震災では、倒壊した自宅や家具による圧死や窒息死が多いことがわかっている。また、複数回の建築基準法の改正に伴い耐震基準が変更された結果、新しい建築物は古い建築物より地震による倒壊率が低下していた。これらを考慮し、問2の男女による違いが生じた理由について、160字以内で2つ以上挙げなさい。

(40点)

<出題の意図>

表を正確に読み取れることは、健康栄養学科で学ぶ上で重要な能力である。この設問では、これまでの教養をもとに論理的な思考によって、適切に判断し、自分の意見を記述する能力をみる。

<採点評価基準>

データから読み取れることを尋ねている。問1では、表1を踏まえて表2から人口あたりの死亡者数の年齢階級別傾向について、問2では、人口あたりの死亡者数の男女による違いについて、問3では、高齢者の男女の死亡率が異なる要因について、論理的に記述できているかを、思考力、判断力、表現力の観点から評価する。